



## “ もう3年 ”



園長 高杉 洋史



月日のたつのは早いもので、玄海東幼稚園から玄海ゆりの樹幼稚園になってもうすぐ三年が来ます。自然環境に恵まれた条件を生かして、理科教育、特に生物教育に力を注いだ幼稚園にしたいとの思いは、徐々に軌道に乗ってきました。幼稚園とさつき松原の間に大きなセンダンの木があるのをご存知でしょうか。センダンとクスノキの林です。十二月上旬、宗像市役所の方とボランティアの方がその林を整備してください、子どもたちが鳥の声を聞いたり、植物採集ができるようになりました。近い将来、許可をいただけたらツリーハウスを作りたいと思っています。大木に登ることで、木の肌触りや植物の息吹を感じてほしいものです。2・3メートルの視界の変化でも世界が広がるはずですが、また、地域の方々や福岡教育大学の先生や学生さんのご協力でタマネギやジャガイモの栽培計画も進んでいます。6月の収穫のためには、この寒い時期に子どもたちにもひと踏ん張りして苗を植えてもらうことになるでしょう。暖かい日を選びますが、応援してあげてください。子どもたちが季節の移り変わりと植物の成長の関係を、体験を通して理解してくれることを目指しています。冬でもラディッシュや大根が少しずつ成長しています。見てくれているかな。教えるのは簡単ですが、自分で発見した時の喜びは格別なので、大人はじっと我慢で待ちましよう。

昨年今頃は新型インフルエンザの流行で心配しましたね。今年は今のところ大丈夫ですが油断は禁物です。大人も子どもも昨年同様、うがいと手洗いに力を入れましょう。感染症対策に関して、日本は良い評価と悪い評価の両方がある国です。良い評価は昨年の新型インフルエンザの死亡率が低かったこと。日本の医療技術の優秀さと、国民の感染症に対する意識の高さの結果でしょう。一方、ワクチン接種に関して副作用に対してあまりに心配するという副作用が出た後の補償のこともあり、先進諸国の中では国の対策の遅れが指摘されています。今のところ保護者が勉強し、費用も用意しなければならぬ状況ですが、わが子の健康は親しか守ってやれません。きつとホームドクターが適切なアドバイスをくださると思います。子どもへの感染症(インフルエンザ・はしか・ふうしん・水ぼうそうなど)に対して今一度ご相談されてはいかがでしょうか。

